

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月4日（金）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
1 松田 兼弘 議 員	1. 南城市の 財 政 運 営 に つ いて	自治体の財政運営は、住民が負担する税金等を使い、住民福祉の向上や財政の持続可能を両立させることにあります。 住民本位の財政運営を行うには税金の集め方、使い方や住民要求に即した予算の配分と情報公開・参加が不可欠であり、効果的に住民の暮らし、まちづくりに生かす健全な財政運営が求められます。 南城市合併 20 年。20 年分の「決算カード」を基に、財政運営を明らかにし、今後の財政運営の方向性を伺います。 （1）合併 20 年の財政運営について 歳入について、 ① 合併前の 4 地区に見る財政運営の概要を伺います ② 合併後の主な歳入構成比率を伺います ア. 新市建設計画（財政計画）に基づく合併特例の歳入構成比率（地方交付税、国庫支出金、地方債） イ. 特例措置の概要（起債限度額、発行額、発行済率、発行期限、残高） 歳出について、 ③ 義務的経費の 20 年の推移を伺います ④ 総務費、民生費、農林水産業費、土木費、教育費の事業について、合併 20 年の評価と課題を伺います ⑤ 合併特例債を活用した主な事業の評価と今後の課題を伺います ⑥ 特別会計（一般会計繰り入れ等について） ア. 国民健康保険事業について イ. 上下水道事業について 20 年の成果と課題を伺います （2）今後の財政課題について ① 基金について 基金の設定と管理、効率的運用について、考え方を伺います ② 補助金の適正な運用について 補助金は税金によって支払われているため、厳格なルール、適正な利用が求められる。厳格な審査と検証を求め、考え方を伺います ③ 官民連携について 指定管理者制度、包括的民間委託の費用対効果に検証が必要です。官民連携の評価と課題を伺います	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月4日（金）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
	2. 国道の街灯再設置について	国道 331 号、津波古 1070 番地付近、国道拡幅前にあった街灯の再設置を住民から求められています。国道事務所への再設置の働きかけを求めます。	市 長
2 新里 嘉 議 員	1. 地域課題について	(1) 市道東江戸線、今年度も地方改善施設整備事業へ申請し、採択を目指しているが、現在の進捗状況について伺います (2) 大里北小学校近隣の信号機設置、現在の進捗状況について伺います (3) 大里北小学校近隣に源流があり、周辺の雨水、排水が集約する宮平川の河川改修は、令和9年度の補助事業採択に向けて取り組んでいると理解しているが、現在の進捗状況について伺います	市 長
	2. 全国学力テストについて	(1) 今年度の本市の状況及び、結果に対しての委員会の総括、見解を伺います (2) 都道府県別の順位公表は意義、目的からすると、そぐわないと思うが見解を伺います (3) 学力、人間力等を上げていくうえでも、学習支援員の常勤化、増員は必要であるとあらためて思うが、見解を伺います	教育長
	3. 大里南小学校校区再編について	委員会としては令和9年度当初の児童数を踏まえ、審議会の答申に沿った校区変更の可否を判断するとあるが、保護者、地元の理解は十分得られているのか心配でなりません。ここは一度立ち止まり、判断時期を保留し、見直しも含めて検討すべきと考えるが見解を伺います。	教育長
	4. ゲーム行動症について	国立病院機構久里浜医療センターの調査にて、ゲーム行動症（依存）の若年層（10 歳～28 歳）は 10%、2018 年比で倍増、生活支障も、というショッキングな結果がでておりました。 この結果は冰山の一角であり、本市においても独自の調査を行うなど、早急な対応が必要と考えるが、所見を伺います。	市 長
3 中村 直哉 議 員	1. 非常時の対応について	自然災害が頻発する現状や人命に緊急を要する対応について伺う。 (1) 災害種別（津波、洪水、土砂災害、高潮、地震等）の避難場所の数と市民への周知方法 (2) 人命に緊急を要する場合 AED は効果があり設置が進んでいる。初期投資や更新費用への補助の考え方	市 長
	2. 行政懇談会について	先日沖縄県の土木建築部との行政懇談会があったかと思うが、市としての要請事項と県からの回答を伺う。	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月4日（金）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
	3. 建築物の耐震改修の促進について	昨今の地震の頻発や災害の発生によって建築物の倒壊が多くなっている現状がある。耐震化は喫緊の課題だと認識している。沖縄県耐震改修促進計画において、補助制度を創設することで住宅・建築物の耐震診断および改修の促進を図っていると聞いている。市の方針を以下に伺う。 （1）耐震診断補助制度の有無 （2）耐震改修補助制度の有無	市 長
4 仲間 光枝 議 員	1. こどもの権利と大人・社会の役割について	沖縄県では、令和8年7月31日に「沖縄県こどもの権利条例」が公布・施行され、こどもを権利の主体として尊重し、こどもの意見表明及び社会参画を推進するとともに、こども自身が自らの権利を知る機会を創出することが明記されました。 本市においても、令和3年に「南城市こどものまち宣言」をし、「南城市こども計画」に基づき、こども・若者の参画機会づくり等、鋭意取り組んでいるところだと思います。 こどもを単に「守られる存在」「支援される存在」と捉えるのではなく、自ら考え、意見を表明し、好きを選択し、社会の一員として参画する権利の主体として尊重することについて考えたいと思います。以下伺います。 （1）こどもが「自分には権利がある」ということを知り、その権利を自らの力として活用できるようにするため、本市ではどのような取組を行っているか。また、今後どのように充実させていくのか。特に学校における「子どもの権利」について学ぶ機会の確保・拡充について伺う （2）本市では、こども・若者の意見を聴く取組が既に行われていると思うが、単に意見を聴取するだけでなく、その意見が施策やまちづくりにどのように反映されたのかをこども自身にフィードバックする仕組みはあるか （3）沖縄県の条例施行を受け、大人側（保護者、教職員、行政職員、地域の大人等）が、こどもの権利と主体性を尊重するための理解や学びをどのように進めていきたいと考えるか	市 長
	2. 組織ガバナンスと安全配慮に関する認識について	去った8月13日、前市長支持者であった男が、被害女性に対する名誉毀損及び強要未遂で拘禁刑2年、執行猶予4年の有罪判決となりました。 SNS上で個人情報晒した上、執拗に人格攻撃を繰り返した行為は、被害者やその家族から平穏な日常を奪い、心身の健康を脅かすほど悪辣なものでした。 市政が変わり「この問題は終わった」と思う人もいる中で、ずっと苦しみ続けてきた、今も苦しむ人がいるという事実が	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月4日（金）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
		あり、本市を被告とする裁判も未だ決着していないのですから、到底「終わった」と言える状況にはなっていません。 前市長による一連のセクハラ問題は、被害そのものだけではなく、市長車元運転手女性がセクハラを訴えた際の対応やその後続く過程の中で、本市の組織的課題を浮き彫りにし、さらには議会の機能不全を指摘されるほどの混乱を招きました。 そして、行政・議会共に被害を訴えた者を守ることができなかった事実、未だ真摯に向き合っているとは思えず、あらためて、組織ガバナンスと安全配慮に関する認識について問いたいと思います。以下伺います。 （１）市長車元運転手女性は「業務委託を受けた個人事業主」、冒頭の元女性職員は「民間委託会社の社員」であった。彼女たちは、労働者としてはかなり弱い立場にあったと思うが、彼女たちが正規職員であったなら対応は違っていたか。 また、関連して以下確認する ① 令和6年1月に公文書公開請求により入手した「市長車運転業務等委託契約書」の別記8には、「その他の事項については、その都度総務課長が指示する」とある。1から7にあるあらかじめ定められた業務以外で「課長が指示して」行わせていた業務にはどのようなものがあつたか ② 冒頭の元女性職員と前市長との市長室での会話録音には、日常的に前市長の弁当の手配をしていたことが窺われるやり取りがあるが、委託業務に含まれていたのか。現在はどうなっているか （２）両者は、セクハラ被害に加え悪辣な2次被害まで受け、さらには仕事まで失うという二重三重の被害を被った。このような事態を組織として防ぐことができなかったことについて、「ガバナンス」や「安全配慮」という観点から市長の見解を伺う	
5 銘苅 哲次 議 員	1. 民泊の営業規制条例制定について	南城市内の豊かな自然や静穏な住環境を求めて移住・居住する住民が増えている一方、近年、一部の民泊施設において、深夜の騒音、不適切なゴミ出し、近隣住宅敷地内への不法駐車、また見知らぬ旅行者の頻繁な出入りによる治安への不安など、住民の生活環境が損なわれる事案が発生している。地域住民の平穏な暮らしを守ることが最優先であると考えているが、市の見解を伺う。	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月4日（金）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
		(1) 市内の民泊施設の登録件数について (2) 民泊施設の現状と近隣住民への影響について (3) 住宅宿泊事業法に基づく生活環境保全の限界と課題について (4) 住宅宿泊事業法第18条に基づく「独自の制限条例」制定に向けた見解について	
	2. 知念岬公園への災害用移動型独立電源トイレの導入提案について	本市の貴重な観光資源であり、市民の憩いの場でもある知念岬公園において、長年利用されてきた駐車場内のトイレが11月閉鎖予定です。これに伴い、利用者や地域住民、そして日々多くの観光客を案内するガイドの皆様からも、「非常に不便になる」「早期に何とかしてほしい」との困惑と苦情の声が多く寄せられています。観光地としてのブランド力維持、そして市民の快適な公園利用の観点からも、「トイレがない状態」を放置することは決して許されません。 そこで、利便性と実用性ならびに、フェーズフリーの観点から、以下、伺います。 (1) 知念岬公園のトイレ解体予定に伴う苦情の把握と現状の認識について (2) 本市指定避難所における「断水時のトイレ対策」の現状と課題について (3) 平時は観光地、災害時は避難所で活躍する、「移動型・インフラ不要トイレ」の導入に向けた調査・検討について	市 長
	3. 庁舎内金融機関の撤退に伴う、公務能率への影響と今後の金融機関誘致について	本市庁舎内において市民や職員の利便性を支えていた「JAおきなわ南城ハート支店」が、店舗統廃合に伴い撤退いたしました。ATMは残されたものの、有人窓口がなくなったことによる影響は、市民だけでなく、本市の日常的な公金取扱業務の現場、とりわけ会計課をはじめとする各部局に極めて大きな負担とリスクを生じさせていると思うが、市の見解を伺う。 (1) 撤退に伴う現状課題について (2) 利便性回復に向けた新たな金融機関の誘致、または代替施策について	市 長
6 前里 輝明 議 員	1. 重層的支援体制整備事業について	複雑・複合化した支援ニーズに対応するため属性を問わない包括的な支援体制を構築するため、今年度から事業をスタートしています。以下について伺います。 (1) 既存の支援では対応が困難な制度の狭間にあるニーズの把握状況や、その対応において中心的な役割を担う部署について伺う (2) 重層的支援体制整備事業を実施することで、現在の連携体制との違いや新たに構築する仕組みについて伺う	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月4日（金）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
		(3) アウトリーチ支援の取り組み状況について伺う (4) 今後の課題と展望について伺う	
	2. 行財政運営について	令和7年度決算における本市の財政状況と今後の行財政運営について伺います。 (1) 歳入の収入未済額が前年度より増加した主な要因について伺う (2) 財政硬直化の現状と今後の見通しについて伺う (3) 今後の事業展開において重点分野への投資など事業の選択と集中について見解を伺う (4) 今後の公共施設やインフラ整備等の投資的経費の見通しと、財政圧迫を回避するための取り組みについて伺う (5) 令和7年度決算の総括・評価について伺う	市 長
7 大城 志保 議 員	1. 南城市役所前市道の安全対策について	(1) 市道夜明けが丘線を挟んだ南城市役所とユインチホテル間では、歩行者の横断が頻繁に見られることから、議会においても安全面での課題が幾度となく指摘されている。安全管理や事故の危険性に関する市の見解を伺う (2) 今後イベントの実施やリムジンバス運行もあり、さらに歩行者の往来が予測されるが、市役所とホテル間の横断歩道の整備など対応策の実施について伺う	市 長
	2. オンデマンド交通「おでかけなんじい」の利便性向上について	(1) 「おでかけなんじい」について、市はどういう方を利用対象に想定しているか見解を伺う (2) 現在の予約システムや受付方法について、幅広い世代の市民ニーズに十分に答えられていると考えるか (3) 子育て世代への移動支援及び子どもだけでの移動に活用できるように子ども料金の設定や WEB 予約システム導入など、利便性向上のための取り組みが必要だと考えるが、見解を伺う (4) 本市における公共交通政策について、市民の利便性向上と南部広域での交通政策の拡充に資する今後の取り組みについて見解を伺う	市 長
	3. 本市における農業振興地域（農振用地）の利活用について	(1) 本市の基幹産業である第一次産業においては、物価高騰により経営に負担がのしかかっており、営農が続けられない状況に陥っている農家もいる。今後の農業の継続と農地保全・利活用（荒廃農地対策や営農支援等を含む）に向けて、特に農業振興地域利活用の具体策を伺う (2) 南城市農畜水産物利用促進拠点整備事業（NOLL 南城プロジェクト）など、新たな取り組みと連携した農業振興策について考えを伺う	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月4日（金）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
	4. 災害避難所の環境整備をはじめとする防災体制の強化について	8月22日に大里南小学校で体育館を利用した防災キャンプが実施されました。体育館に冷房設備がないことで熱中症等の危険性など様々な課題が見受けられたことから以下伺う。 （1）災害避難所にも指定されている市内の小中学校施設における環境整備（体育館の熱中症対策・冷房設備導入等）について伺う （2）実行性のある自主防災組織の強化と学校・地域との連携構築について見解を伺う	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月7日（月）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
8 普天間 真也 議 員	1. 農畜産業振興について	(1) 7月に産業教育委員会にて山口県下関市にある「ベルちゃんたちのおうち(株)」を視察し「急速発酵資源化システム(ERS)」を活用した畜産糞尿処理施設について学んできました。 この設備はコンパクトでありながら短時間で発酵、資源化できることが特徴で臭いや排水も発生せず、成果物は堆肥や敷料として利用できます。導入費用は約3億円(畜産クラスター事業使用)、1日25tの処理が可能でランニングコストは年間約6,000万円となっています。 本市としても今後進めていく畜産糞尿処理施設の選択肢として検討する価値があると思うが所見を伺う (2) 現在、多くの畜産農家は畜舎から出る糞尿を各農家で堆肥化し草地へ還元し循環型の農業を行っています。固形成果物を植え替えのタイミングで畑に天地返しなどで鋤き込む際には重機を使用しており、重機のレンタル料や委託費が発生します。 畜産農家に限らず、市が重機の費用等に対する助成をすることで農家経営の負担軽減だけでなく、耕作放棄地の利活用の推進に繋がると思うが所見を伺う	市 長
	2. 斎場御嶽の保存、活用について	(1) 本来何を目的とした場所なのか (2) 歴史的、文化的価値の保護、継承の考え方 (3) 今後予定している来場者に向けた新たなサービスや取り組み	市 長 教育長
	3. 市役所職員の働き方改革について	8月24日の議員説明会にて説明があった南城市庁舎開庁時間見直し(短縮)について以下伺う。 (1) 開庁時間見直し案の実施内容 (2) 開庁時間見直しに至った理由 (3) 今後どのように周知を行うのか	市 長
9 知念 俊也 議 員	1. 友好都市について	本市は、姉妹都市として宮崎県高千穂町、三重県玉城町と、人の行き来を通じて学び合い、地域のつながりを深める取り組みを行ってきた。 しかし、友好都市、中国江陰市におきましては、コロナ禍以降、交流が途絶えている。 友好都市交流は、法律上の強い義務よりも、自治体同士の合意と継続的な交流で成り立つことが多いとされていますが、友好交流都市締結10年経過を迎え今後の見解を伺う。	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月7日（月）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
	2. 地域課題について	当山農村公園施設のトイレ窓ガラスやドア破損等を指定管理者、当山区より再三修繕要請を行っているという。 要請から3年近く経過し、破損理由から市側が早急に対応すべき事案だと考えるが、現況を伺う。	市 長
	3. 市政について	令和9年度沖縄関係予算の概算要求額が2,870億円にて最終調整と報道がある中、本市においても次年度は、大城市長の公約を政策として具現化する事業もあるかと思いますが、以下について伺う。 (1) 次年度本市予算編成における市長の思い見解を伺う (2) 市長就任時、政党に頼らない選挙を行った中、事業予算獲得が危惧されていたが、精力的に予算要請活動を行っているという。活動実績、見解を伺う (3) 公約政策を実現するためにも市民の声や地域との交流も重要だと考えるが、見解を伺う (4) 令和8年度南城市商品券交付事業における現在の評価、見解を伺う	市 長
10 森山 悟 議 員	1. 歴史文化の振興・保護の観点から以下について	南城市が策定する「歴史文化基本構想・保存活用計画書」の保存・活用の方針において、この区域が琉球発祥の地であり、人々の生活や農耕が開始され県内でも例をみない極めて重要な歴史文化環境であると位置付けられています。さらに同計画の「区域の歴史文化育成方針」では藪薩ノ浦原周辺についても「一体的な文化財指定に向けて積極的に取り組む」「不要な開発行為による景観破壊、環境低下が起こらないように、風致地区の制度と連携して最大限の対応を図る」「まとまりのある緑地の保全育成を進め、水源涵養機能の維持に努める」事が明記されています。この事から以下について伺います。 (1) 南城市では（浜川御嶽周辺・ヤハラヅカサ周辺）の環境整備・保存については、どの様に取り組んで行くのか今後の計画について伺う (2) 藪薩ノ浦原周辺を県指定文化財にしていく説明会を地権者に対して行っていますが、今後の説明会の予定について伺う (3) 藪薩ノ浦原周辺ザ・ビィラ百名建設予定地の風致地区の手続きがまだされていないと話がありましたが、今の状況、今後の流れについて伺う	市 長 教育長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月7日（月）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
	2. 中山海岸・玉城海岸・新原ビーチの砂の撤去・移動について	今年は、台風の接近が多く各地域に被害がある中今後の対策の中で、被害を最小限に抑える為には、日頃からの掃除など、現状維持などの取組が必要だと思います。以下について伺う (1) 中山海岸・玉城海岸・新原ビーチの管理は何処の管理になるか伺う (2) 管理体制およびパトロールの状況について伺う (3) 中山海岸・玉城海岸・新原ビーチには護岸がありますが台風の影響により、護岸の高さまで砂が堆積している状況があり、護岸の機能を果たしていない状況があります。砂の移動・撤去について伺う	市 長
	3. 公共施設のトイレの状況について	南城市内の公共施設のトイレの状況について伺う (1) 南城市内各小中学校の洋式トイレへの変更状況について伺う (2) 公共施設（陸上競技場・体育館・野球場・公園）など和式トイレから洋式トイレへの変更の現状について伺う	教育長
11 仲村 哲 議 員	1. カスタマーハラスメント対策について	(1) 本市におけるカスタマーハラスメントの実態について ① 本市はカスタマーハラスメントをどのように認識しているか伺います ② 職員が受けた暴言、威圧、不当要求、長時間拘束等について、実態を把握しているか伺う ③ 部署や業務によって発生状況に違いがあるか伺う (2) 発生時の対応体制について ① 職員が一人で抱え込まないようにするための組織的な支援体制はあるか伺う ② カスタマーハラスメントに該当する行為の判断基準や対応マニュアルはあるか伺います ③ 悪質な事案について、警察や弁護士等と連携する基準や体制はあるのか伺う (3) 今後の取組みについて ① 職員向けの研修や相談体制を図る考えはあるか ② 市としてカスタマーハラスメントに対する基本方針や対応要項を策定する考えはあるか ③ 市民に対しても「正当な意見・苦情は尊重するが、職員に対する暴言・脅迫・人格否定等は許容しない」と周知する考えはあるか伺う	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月7日（月）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
	2. 冠水対策について	6月15日に一時間の降水量が53.5ミリを観測した大雨がありました。市内各所にて冠水被害が発生いたしました。船越区でも、数か所冠水が確認されました。 これまでの、答弁でも雄樋川沿いの冠水対策について伺っておりますが、再度伺います。 （1）これまでの冠水状況について ① 雄樋川沿いにおいて、市が把握している過去の冠水や浸水被害は、どのような場所でどの程度発生しているのか伺う ② 冠水の主な原因について、どのように分析しているのか伺う （2）現在の対策について 水位計や監視カメラによる監視が行われていますが、これまでの監視体制や浚渫等の対策によって、効果は確認されているのか伺います （3）洪水浸水想定区域指定について 本年3月、雄樋川水系が洪水浸水想定区域として指定されました。この指定によって、市として新たに把握した課題や、特に対策が必要と考えている地域はどこか伺います （4）今後の具体的な整備計画について ① 雄樋川及び周辺地域について、今後、河川整備、排水路・側溝の改良など具体的な冠水対策を実施する予定があるのか伺います ② 河川管理者である沖縄県や隣接する八重瀬町と南城市との役割分担はどのようになっているのか。また、県に対して市からどのような整備要請を行っているのか伺う ③ 今後、線状降水帯の発生や台風等も増える中、市民が安心して生活できるよう冠水対策について優先順位と整備スケジュールを明確にすべきと考えるが見解を伺う	市 長
	3. 農地から出てくる石の問題について	農地を耕作する際や、大雨の後など地中から大小の石や岩が出てきます。農家さんは、その石を畑の片隅に積み上げざるを得ない、あるいは外へ搬出するにも費用や処分先の問題があるなど、農家の負担となっております。 そこで、石の一時保管場所や集積場、再利用方法を含めた対策を検討できないか伺います。	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月7日（月）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
12 高江洲 順達 議 員	1. 狂犬病予防注射について	沖縄県は6月3日、2025年度の県内狂犬病の予防注射の接種率が前年度比2.1ポイント増の55.6%（速報値）だったと発表した。過去20年間で最も高い接種率となったが、県内の接種率は例年50%前後で低迷しており、全国ワーストが続いている。狂犬病は犬だけの病気ではありません。人にも感染し発症した場合は、ほぼ100%死に至るととても怖い病気です。世界保健機関（WHO）の勧告では、狂犬病のまん延防止には接種率70%以上が必要とされている。県内では41市町村のうち、南城市を含め32市町村はこの基準を満たしていない。南城市の接種率は、47.3%で県内でも下位に位置している。次の5点について伺います。 （1）直近の犬の登録数 （2）直近の犬の接種済み数 （3）南城市役所で接種するようになったのは何年度からか （4）各公民館で実施していた時の接種率 （5）市民の利便性から各公民館での実施に戻す考えはないか	市 長
	2. 琉球人遺骨について	2025年1月7日に国立民族学博物館より、厨子甕が字津波古の福増門中に返還されましたことは快挙です。厨子甕ばかり、研究目的で持ち出された琉球人人骨は、なおさらのこと沖縄の先祖崇拝の伝統文化の観点からも帰属すべきところに帰属するのが当然のことです。 2026年8月17日付け琉球新報に掲載された「琉球人遺骨問題を考える対話シンポジウム」の記事と資料から次のことを伺います。 （1）資料によると京都大学で保管している琉球人遺骨の中に南城市関係が13個体ある。その事実を知っているか （2）持ち出した場所として知念村久手堅ナワンダ穴、玉城村ハナダ洞窟、玉城村仲井真洞窟と固有名も記されている。これらの場所は風葬墓と思われますが関係者と会って返還等の処遇を話し合ったことはあるか （3）「那覇市や南城市など、持ち出された場所がはっきりしている遺骨がある。自治体は返還を求めるべきだ」と新報の記事にあるがどう考えているか	教育長
	3. 地域課題について	（1）8月9日の台風13号による被害を被って新開公園の照明灯がすべて消えている。健康器具が配置されているため夜間の利用も多いところです。早めに復旧してほしい。見解を伺う。	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月7日（月）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
		（２）2025年9月議会一般質問で指摘した新開都市緑地公園の照明灯について、2025年度内に改善すると回答があったが未だ復旧してない。早目の復旧をお願いする。見解を伺う。	
13 上地 寿賀子 議 員	1. エキスパート職員の配置について	市の業務におきましては市民部、健康福祉部、企画部、教育部、土木建築部、農林水産部、上下水道部、総務部など多岐にわたり日々業務を遂行しており、各課の連携やDXによる連携、窓口手続きの簡略化などに取り組んでおります。 その中でも専門性や経験値を必要とする業務も多々あることから昨年2月議会でも同様の一般質問をしており、エキスパート職員配置の必要性を求めました。 エキスパート職員の配置により職員同士の繋がりが業務の効率化だけではなく、市役所へ来庁する市民対応の向上も期待できます。 そのことから市民と職員、職員と職員を繋ぐ要となるエキスパート職員の配置について伺います。 （１）専門性に長けた職員の人材育成について （２）長期配置とした各部、各課におけるエキスパート職員の配置について （３）職員の意向について	市 長
	2. 渋滞対策や通学路の整備について	南部東道路の全線開通が遅延していることによる道路の交通渋滞は未だ解消が見えてない状態であります。 特に朝夕と通勤時間や通学時の時間帯には、右折帯や右折信号機が設置されていない主要交差点を通過するのに時間を要しております。 市内の住宅建築や集合住宅の増、人口増加とともに車の交通量が増えていくことは想定されることであり、地域が発展する一方で新たな課題が生じることも理解できますが、道路の整備、交通渋滞の対策が急務であります。 市がもつ渋滞箇所の見解やこれまでの県や関係機関への要請、交渉、結果、今後の方向性及び整備が必要なことも達の通学路と併せ見解を伺います。	市 長
	3. 優良乳用牛リース支援事業（酪農）、優良繁殖牛導入支援事業（和牛）について	今年度をもって終了するとした優良乳用牛リース支援事業、優良繁殖牛導入支援事業につきましては、酪農家や和牛農家からも継続の要請が市にあり検討事項となっております。 そのような中で酪農家、和牛農家は希望と不安の狭間で日々過ごしております。 市が来年度以降も事業を継続するのか、代わりとなる事業を新たに設立するのか。県が実施する同様の事業との併用が可能	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月7日（月）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
		なのかという課題が残されております。 来年度に向けた市の予算編成も始まっていく時期に入っていくことから、現状での市の所見や課題と対策について伺います。	

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月8日（火）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
14 宮城 秋夫 議 員	1. 大里地区 流域公共下水 道整備につい て	市民から早めの整備を望む声が多くあります大里地区流域 公共下水道整備ですが、これまでも多くの同僚議員が質問 するなかでも進展が見えてこないという状況であります。そ こで以下について伺います。 (1) 同下水道整備事業のこれまでの経緯について（県との交 渉等時系列的に） (2) 同下水道事業の事業概要について (3) これまでの課題及び解決策について	市 長
	2. ラウンド アバウト化に ついて	親慶原交差点は、交差点の安全性向上、渋滞解消、環境負荷 の低減等の効果があるラウンドアバウト化するのに、現状の 交差点形状等から比較的スムーズに移行できるのではないかと 考えます。そこで、これまで同交差点のラウンドアバウト化 について検討されたのか。検討されたのであれば、その検討結 果について伺います。	市 長
	3. 地域課題 について	(1) 大里 NT（大里 2535-6 付近）内の山手側の市有地の雑草 が繁茂し、台風襲来時等で散乱し、住民から除草してほしい との要望があり、その改善策について伺います (2) 市道仲程～南風原線（平良 2342-1 番地付近）の側溝の 蓋が一部なく歩行者等が危険な状態であり、その改善策を 伺います (3) 令和6年9月に一般質問で取り上げた、高平 685-2 付近 の排水路の蓋がなく早急な対応をお願いしたが危険な状態 のままである。その改善策について伺います	市 長
15 島袋 裕介 議 員	1. 公共施設 について	(1) 令和7年1月30日に、まちづくり交流拠点についての 市民説明会を開催し、公共施設の現状、再編の経緯、整備予 定の機能、スケジュール等の内容を説明しています。以下伺 う ① 市民説明会后、整備予定の機能に変更等はあるか ② 資材高騰等による事業進捗への影響 (2) 公共施設の統廃合について市民への丁寧な説明が必要 とこれまでも議論してきたが、今後の説明会の予定及び市 が保有する公共施設の整理等も必要と考えるが見解を伺う	市 長
	2. 自治会に ついて	地域行事、清掃活動、防犯灯の管理、市からの事務委託等、 任意団体として地域活動に取り組んでいる自治会の運営等に ついて伺う。 (1) 区長事務委託料の積算方法と委託内容 (2) 八重瀬町がふるさと納税を通じて、自治会活動を直接支 援する「ふるさと八重瀬自治会活動応援交付金」を導入しま	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月8日（火）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
		した。本市でも必要と考えるが見解 (3) 自治会加入率が平成27年の議事録では84.6%とありましたが、令和6年度は59.1%で25.5ポイント減少しております。今後の自治会の在り方について先を見据えた議論が必要と考えるが市の見解	
	3. 行政改革について	令和7年6月に第5次行政改革大綱が策定されております。以下伺う。 (1) 第4次行政改革大綱の達成・未達成状況および第4次大綱をどう評価、検証し第5次大綱に反映させているのか (2) 第5次大綱の取り組み状況及び進捗管理について	市 長
	4. まちづくりについて	人口減少や高齢化を見据え、持続可能なまちづくりにしていくため立地適正化計画の策定に取り組んでいるが、策定に向けた今後の取り組み及び本市が目指す将来像について見解を伺う。	市 長
16 宮城 尚子 議 員	1. ハラスメントのないまちづくり	(1) 前市長からセクハラ被害を受けた本市女性職員に対し、 “セクハラはでっちあげ、などと非難、SNS上で個人情報公表や執拗な嫌がらせ投稿を続けた男性が名誉毀損と強要未遂罪の罪に問われ、先月、拘禁刑2年の判決を受けた。 ① これに対する市としての見解 ② 市として被害職員への対応状況 (2) 2月議会で提案した「インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例」制定、基金創設についての進捗、削除要請や過料等さらに強い関与のある条例制定の県への要請進捗 (3) 前市長によるセクハラ関連に対する答弁において「訴訟中のため答弁を控える」という発言が度々出るが発言の法的根拠について (4) 市の顧問弁護士選定の基準や契約状況 (5) 本市における「安全配慮義務」に対する考え方 (6) 7月の職員向けハラスメント研修のアンケートに寄せられた内容について	市 長
	2. DMO なんじょう関連	(1) 本市が契約している「地域力創造アドバイザー」の契約業務内容と現在の業務内容 (2) 7月22日、8月3日、8月5日付け新聞報道で本市 DMO なんじょうに関する取引業者との問題が報道されたが、この報道に関する事実関係の確認等、市としてどのような対応・把握状況	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月8日（火）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
		（３）令和7年9月議会の補正予算で可決された「観光地域づくり推進事業」（７款２項１目）の「地域おこし協力隊募集等業務委託」委託料300万円について以下伺う ① 委託先の選定方法の経過について ② 委託先の詳細（委託先名等） ③ 委託業者から出された見積もり額の詳細 ④ 委託後の実際の業務内容とかかった金額（経費の詳細）等がわかる実績報告と実際の支払い額について （＊上記①～④再委託先がある場合は再委託先を含む）	
17 西銘 幸太 議 員	1. 地域行事と学校休校日のあり方について	南城市では、奥武島、海野、馬天など各地域で、豊漁や航海安全を祈願する伝統行事「ハーリー」が長く受け継がれている。 市内の学校では、ハーリーに伴い学校休校日や登校時間の変更等が行われる地域がある一方、居住地域や通学する学校によっては通常どおり授業が行われるなど、同じ南城市の児童生徒でありながら取扱いが異なっている。 地域の伝統文化を市全体で継承し、子どもたちが地域文化に触れる機会を等しく確保する観点から、以下について伺います。 （１）現在、市内小中学校において、ハーリー等の地域行事に伴う学校休校日、登校時間変更その他の対応は、どのような基準で決定されているのか伺います （２）学校または地域によって休校日の取扱いが異なる現状について、教育委員会の認識を伺います （３）ハーリーは海に面した地域だけの行事としてではなく、南城市を代表する伝統文化の一つとして、海から離れた地域の児童生徒も含め、市内の子どもたちがその歴史や文化を学び、地域行事に参加できる機会を設けることについて見解を伺います （４）ハーリーを地域文化や地域との交流の学びの機会とし、市内小中学校を統一し休校日として取扱い、市内児童生徒の公平性及び伝統文化継承の観点から、市内共通の休業日または「地域文化の日」等とすることを検討できないか伺います （５）市内すべての児童生徒が、居住地域にかかわらず南城市の伝統文化に触れ、参加できる学校教育のあり方について、今後の考えを伺います	教育長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月8日（火）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
	2. 知念岬公園について	現在知念岬公園は、斎場御嶽・がんじゅう駅含めて年間何十万人の利用者がおります。知念体育館と共に、駐車場トイレの解体工事も決まっておりますが、駐車場からがんじゅう駅までの距離、またがんじゅう駅のトイレだけでは大型バスなどが来た際の、対応は厳しいのではないかと考えますが、一度解体後にでも、再度トイレを設置する方法を検討できないかを伺います。	市 長
	3. 久高島貯水タンクについて	令和4年9月議会において一般質問しました、貯水タンクですが、令和6年度に水道事業整備計画の見直しを行う予定と伺っていましたが、その後の進捗状況を伺います。	市 長
18 運天 貴也 議 員	1. 住宅民泊施設について	近年、南城市内において観光客向け宿泊施設の住宅民泊施設が急増しております。これに伴い、住宅密集地や静穏な地域において、夜間の大声での騒ぎ、屋外での深夜に及ぶバーベキューや音楽、車両の出入りなどによる「騒音問題」が頻発し、市民の平穏な生活や睡眠が著しく脅かされています。市へ、「南城市内におけるゲストハウス（貸家・民泊等）からの騒音および生活環境悪化の対策に関する陳情」が提出されています。以下伺います。 (1) 実態把握及び調査実施について (2) 市民が迅速に相談・通報できる行政窓口の設置について (3) 事業者および管理者に対する指導・監督について	市 長
	2. 災害に強い水道をつくるための管路の予防保全とDXについて	令和8年7月28日16時27分に起きた熊本地震では、水道をはじめとする生活インフラにも大きな被害が発生しました。 水道は、市民生活はもちろん、医療、福祉、避難所運営、消防活動などを支える最も重要なライフラインの一つです。南城市の現状を以下伺います。 (1) 直近の有収率 (2) 水道管路の総延長距離 (3) 管路経年化率及び距離 (4) 耐震適合率及び距離 (5) 漏水調査方法及び頻度について (6) 水道管路破損や大規模地震等が発生した場合、本市では管路の被害状況を、どのような方法、体制、順序で行っているかについて	市 長
	3. 道路環境について	市内の国道、県道、市道に様々な木々が植樹されており、日差しをさえぎる、排気ガスや騒音をやわらげ、道路沿いの環境を守っていると認識しております。一方で、台風の通過後は	市 長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月8日（火）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
		暴風雨により落ち葉や枝が歩道及び路面に散乱した様子が見受けられます。今年は、台風の発生しやすい気象状況で6月に6号、7号、7月に9号、8月に13号、18号と5個の台風が直撃しました。その際、所管する南部国道事務所、南部土木事務所、南城市が原状回復する作業は決して素早いものではなく1か月経っても側溝に落ち葉が詰まった状況が所々見受けられます。市内では、自宅周辺の歩道などに散乱した飛来物（落ち葉、木の枝等）の清掃作業する市民の姿が見受けられます。 そこで、個人、事業者問わず台風後に自主的に清掃活動していただいている方々へボランティア袋を配布する必要性について市の見解を伺います。	
	4. 災害に強いまちづくりについて	南城市では、地域防災の要となる「防災士」の資格取得を目指す方を対象に、養成講座を実施しております。また、「南城市防災士資格取得補助金（上限3万円）」として負担軽減する制度も整っております。 更なる防災意識向上、市民の安全安心の視点より、南城市版「防災会設立」について見解を伺います。	市 長
19 徳田 高男 議 員	1. 子ども育成連絡協議会について	子ども会への活動助成が、例年3万円から今年度2万5千円になったとの声がありました、その状況について以下伺う。 （1）南城市子ども会育成連絡協議会へ加入するための条件など加入方法について伺う （2）加入団体数及び加入者数について、過去3年間の推移を伺う （3）子ども会育成連絡協議会に対する、過去3年間の予算額及び決算額について伺う	教育長
	2. 部活動の地域展開について	国は、令和8年度から令和10年度までを改革実行期間前期とし、休日の学校部活動を地域クラブ活動等へ展開していく方針を示している。保護者や児童生徒にとっても関心事である。これまで行われてきた休日の学校部活動が今後どうなるのか、休日部活動の今後の方針について伺う。 （1）国が示す休日の学校部活動の地域展開を踏まえ、今後の方針を伺う （2）現在の休日部活動の実施状況について伺う （3）地域展開を進める場合、地域クラブの実施主体や指導者の確保、保護者の経済的負担、安全管理、などの課題に、今後どのように対応していく考えか伺う	教育長

令和8年9月定例会 一般質問通告書

令和8年9月8日（火）

質 問 者	発 言 事 項	要 旨	答 弁 者
		（４）これまでの地域クラブ活動への移行に向けた実証事業の成果と課題について伺う	
	３．大城 IC 付近の交通対策について	南部東道路の供用後、大城インターチェンジから県道 48 号線・愛地方面へ向かう車両が雄樋川沿いの市道および農道を通行する際、交通量が増え、速度を出す車両に危険を感じるとの声が地域からあがっていますが、そこで以下について伺う。 （１）雄樋川沿いの市道・農道の交通状況について、市はどのように認識しているか （２）注意喚起の看板や路面表示など、交通対策を講じる考えはないか	市 長
	４．市政運営について	市長就任からまもなく 1 年を迎える中、今後の市政運営において、どのような課題や重点施策に取り組んでいくか所見を伺う。	市 長